

# 国際交流

## ●根室の国際交流

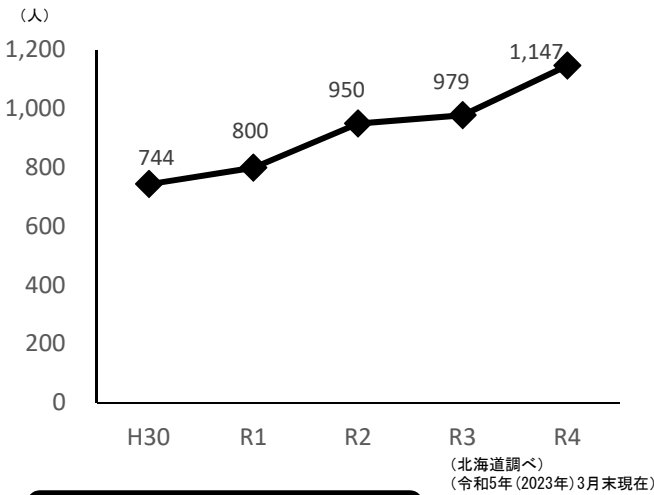
根室管内では、各地でロシア語教室や文化理解講座、料理教室などが行われており、市町や民間団体などが、それぞれの立場で国際交流に取り組んでいます。

根室市では、平成4年8月に根室インフォメーションセンターを花咲港に開設し、来航するロシア人にわが国の生活習慣について理解を深めてもらい、また上陸中の利便を図るためロシア語による各種情報を提供するとともに、市民とロシア人のふれあうコミュニティの場として提供しています。また、平成31年4月には根室ベトナム交流協会が設立され、各種行事が開催されるなど外国人技能実習生と市民の交流が図られています。

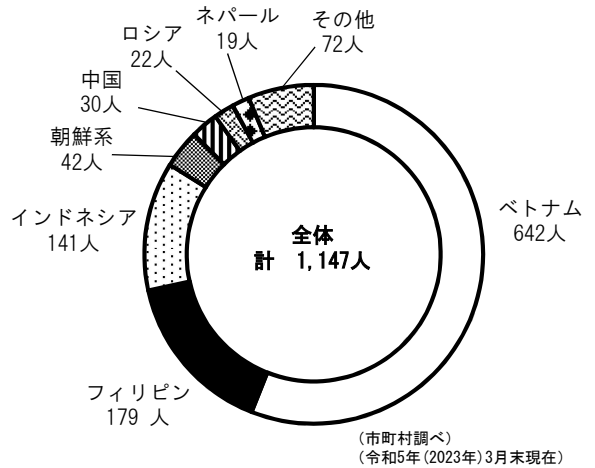
外国語教育については、管内すべての市町に語学指導助手（ALT）が配置されています。別海町では、高校生の海外視察研修事業や農業実習研修事業を毎年行っています。

一方、令和3年4月には、中標津町に管内初となる日本語学校が開校され、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在は日本語習得を志す外国人留学生に対し、オンラインで授業を行っています。観光面では、海外からバードウォッチングツアーを迎えたり、羅臼町では知床世界自然遺産の英語、中国語及び韓国語のパンフレットを作成し、外国からの観光客に対応しています。

### 外国人在住者数の推移



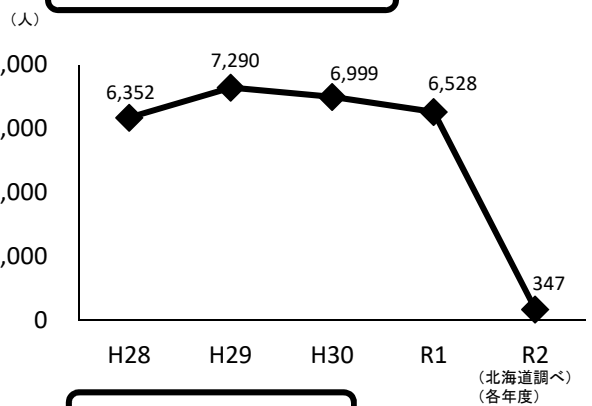
### 国籍別外国人在住者数



### 海外都市との交流状況

市町名	交流都市	提携年月日
根室市	アメリカ・アラスカ州・シトカ市	S50.12.19
	ロシア・サハリン州・セベロクリリクス市	H6.1.27
別海町	ドイツ・バイエルン州・バツサーブルグ市	S54.5.10

### 訪日外国人宿泊人数



## ●JETプログラム

正式には、「語学指導等を行う外国青年招致事業」と称され、昭和62年8月から実施しています。

主な事業内容は、地方自治体が単独事業により外国青年を招致し、小学校、中学校及び高等学校における語学指導等を行うとともに、地域住民との交流を行います。

招致する外国青年は、国際交流員（GIR）と語学指導助手（ALT）及びスポーツ国際交流員（SEA）に分かれます。

全道のJET参加者数は302名（内、根室管内11名）となっています。  
(令和5年(2023年)3月末現在 北海道調べ)

### 国際交流団体数

	団体数	備考
管内	10	(根室市5、中標津3、羅臼1、管内1)
全道	512	

(北海道調べ)  
(令和4年度現在)